資料１

令和７年度予算の概要

記者発表資料

令和７年２月２０日（木）

あま市総務部財政課

目　次

１　予算規模　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
⑴ 予算額の推移（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
⑵ 歳入の内訳（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
⑶ 歳入の主な増減（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
⑷ 歳出の内訳（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
⑸ 歳出の主な増減（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
２　財政指標
⑴ 市債残高の推移（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
⑵ 基金残高の推移（一般会計）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
３　予算編成の考え方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
４　令和７年度の重点的な取組
全施策共通
全施策共通　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
Ⅰ　安全で安心に暮らせるまち
Ⅰ-1 防災対策の充実により安全が確保されたまちをつくります　・・・　１６
Ⅱ　都市基盤と環境が整った快適なまち
Ⅱ-1 都市基盤が整った快適なまちをつくります　・・・・・・・・・・　１７
Ⅱ-2 環境を守り、潤いある美しいまちをつくります　・・・・・・・・　１７

目　次

Ⅲ　心身ともに健康に暮らせるまち

Ⅲ-1 健康づくりを支えるまちをつくります　・・・・・・・・・・・・・・　１８
Ⅲ-2 市民力を活用した地域共生社会を実現するまちをつくります　・・　１８
Ⅲ-3 いきいきと学び続けられる環境が整ったまちをつくります　・・・　２０

Ⅳ　次代を担う人を大切に育てるまち

Ⅳ-1 子育て環境の整ったまちをつくります　・・・・・・・・・・・・・・　２１
Ⅳ-2 教育環境の整ったまちをつくります　・・・・・・・・・・・・・・・　２２

Ⅴ　自らの力で歩み続ける、活力あるまち

Ⅴ-1 地域産業を活性し賑わいと活力あるまちをつくります　・・・・・　２４
Ⅴ-2 歴史・文化遺産を活用し、郷土に誇りが持てるまちをつくります　２５

Ⅵ　持続可能な行政経営を推進するまち

Ⅵ-1 持続的な行財政改革を推進するまちをつくります　・・・・・・・・　２６

Ⅶ　交流と連携により成長するまち

Ⅶ-1 市民と育てる協働のまちをつくります・・　・・・・・・・・・・・・　２７
Ⅶ-2 お互いの人権を認め合うまちをつくります　・・・・・・・・・・・　２７

１　予算規模

一般会計予算額は35,410,000千円、対前年度1,658,000千円の増額（＋4.91%）となりました。これは、**人事勧告に基づく給与改定に伴う影響、自立支援介護給付費等事業費や児童手当費などに伴う社会保障費の増加、また、インフラを含む公共施設老朽化への対応などが主な要因**です。

また、特別会計予算額は17,913,515千円、公営企業会計予算額は6,368,361千円、全会計予算総額は59,691,876千円となりました。

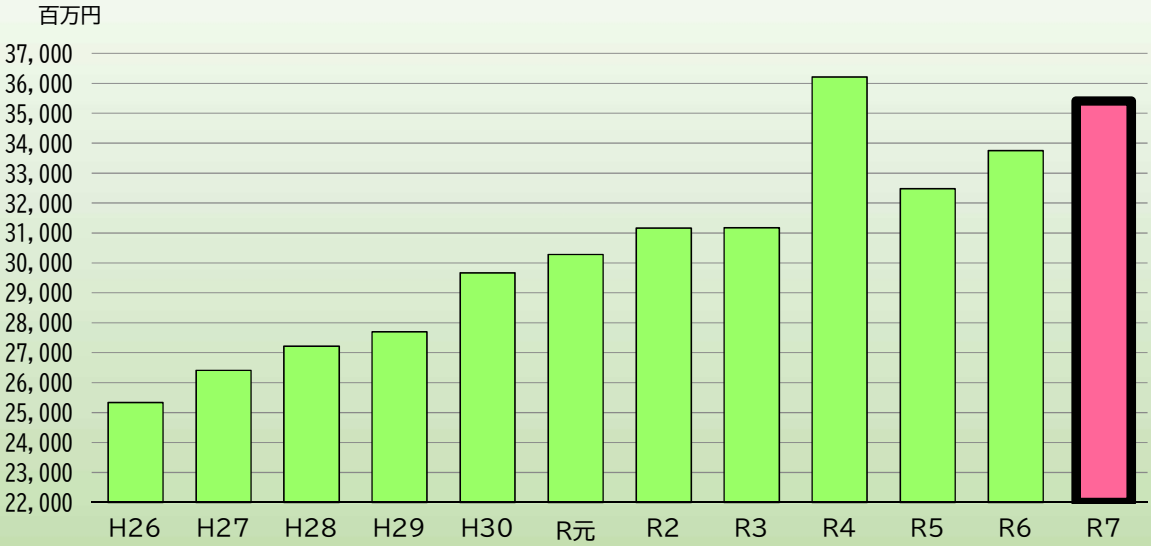
会計別予算規模一覧表

（単位：千円）

区　分	一般会計	特別会計	公営企業会計	全会計
令和７年度　A	35,410,000	17,913,515	6,368,361	59,691,876
令和６年度　B	33,752,000	17,339,554	6,052,401	57,143,955
増減額 C(A-B)	1,658,000	573,961	315,960	2,547,921
増減率　C/B	4.91%	3.31%	5.22%	4.46%

参考：人口1人当たりの一般会計予算額　　401千円（前年度380千円）
　　人口1人当たりのあま市総予算額　　676千円（前年度644千円）
　　※人口は令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口88,363人による。

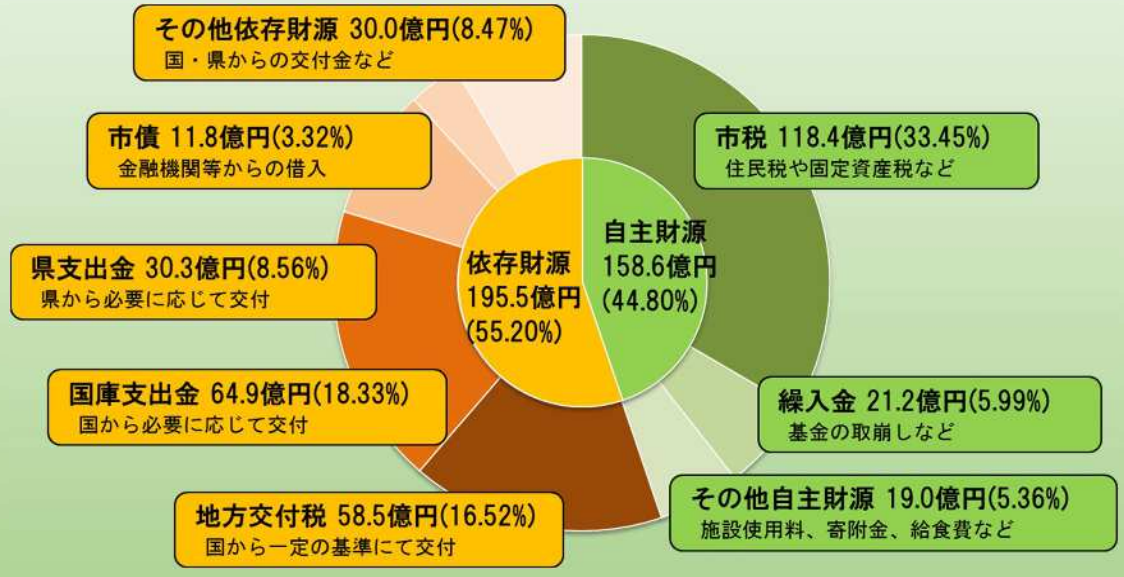
(1)　予算額の推移（一般会計）



一般会計 （単位：千円）	H26	H27	H28	H29	H30	R元
	25,333,000	26,408,000	27,218,000	27,697,000	29,667,000	30,284,024
	R2	R3	R4	R5	R6	**R7**
	31,165,000	31,175,000	36,216,000	32,477,000	33,752,000	**35,410,000**

(2)　歳入の内訳（一般会計）

令和７年度予算における歳入の内訳は、以下のようになります。
市税や繰入金等の「自主財源」は44.80%（前年度比＋1.22ポイント）、地方交付税や市債等の「依存財源」は55.20%（前年度比△1.22ポイント）となります。



⑶　歳入の主な増減（一般会計）

①　市税

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
11,843,224千円	10,957,700千円	885,524千円	8.08%

●個人市民税（4,584,325千円→5,209,968千円）＋625,643千円
・令和6年度分の定額減税が終了するとともに、個人所得の増加が見込まれるため。
●法人市民税（443,508千円→567,911千円）＋124,403千円
・市内法人の業績が堅調であるため。
●固定資産税（5,178,654千円→5,282,489千円）＋103,835千円
・新増築家屋の増収分を見込むため。

②　地方消費税交付金

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
2,150,000千円	1,949,000千円	201,000千円	10.31%

●個人消費の増加により、地方消費税の増収分を見込むため。

③　地方特例交付金

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
143,727千円	554,078千円	△410,351千円	△74.06%

●定額減税減収補てん特例交付金（396,586千円→1,416千円）△395,170千円
・令和6年度税制改正に伴う所得税及び個人住民税の定額減税が一部を除いて終了したことにより、定額減税減収補てん特例交付金が大幅な減額となるため。

④　地方交付税

	令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
普通	5,550,000千円	5,800,000千円	△250,000千円	△4.31%
特別	300,000千円	300,000千円	0千円	0.00%
計	5,850,000千円	6,100,000千円	△250,000千円	△4.10%

●普通交付税（5,800,000千円→5,550,000千円）△250,000千円
・令和6年度交付実績及び令和7年度地方財政対策に基づき減額したため。
●特別交付税（300,000千円→300,000千円）±0千円

⑤ 国庫支出金

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
6,492,508千円	5,310,012千円	1,182,496千円	22.27%

●児童手当負担金（1,124,067千円→1,638,452千円）＋514,385千円
●自立支援給付費負担金（1,533,617千円→1,768,582千円）＋234,965千円
●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）
（0千円→164,883千円）＋164,883千円
●デジタル基盤改革支援事業費補助金（54,486千円→210,325千円）＋155,839千円
●施設型給付費等負担金（575,768千円→679,894千円）＋104,126千円

⑥ 繰入金

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
2,123,004千円	2,005,187千円	117,817千円	5.88%

●財政調整基金繰入金（1,811,000千円→2,086,000千円）＋275,000千円
・人件費や物件費の増加などに伴い、繰入を増額するため。
●まちづくり事業推進基金繰入金（72,840千円→37,000千円）△35,840千円
・木田駅周辺整備事業費の減額に伴い、繰入を減額するため。

⑦ 市債

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
1,176,200千円	1,599,400千円	△423,200千円	△26.46%

●同報系防災行政無線整備事業や防災情報通信システム整備事業などに充当する緊急防災・減災事業債を増額する一方、新庁舎整備事業債及び臨時財政対策債を皆減するため。
・新庁舎整備事業債（275,100千円→0千円）△275,100千円
・木田駅周辺整備事業債（379,400千円→180,800千円）△198,600千円
・臨時財政対策債（120,000千円→0千円）△120,000千円
・七宝産業会館解体事業債（119,400千円→0千円）△119,400千円
・七宝焼アートヴィレッジ空調設備更新事業債（118,700千円→0千円）△118,700千円
・七宝プール解体事業債（8,900千円→199,400千円）＋190,500千円
・同報系防災行政無線整備事業債（194,800千円→454,600千円）＋259,800千円

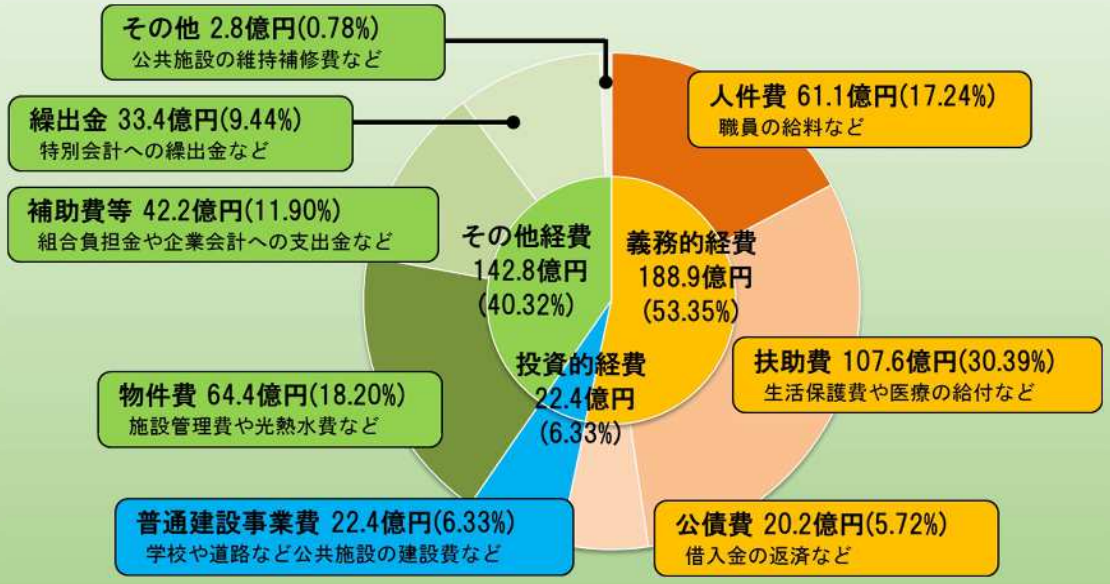
【参考】過去５年間の借入額の推移

	R３	R４	R５	R６	R７
一般会計	3,526,264千円	5,428,441千円	1,840,043千円	2,205,806千円	1,412,000千円

※Ｒ６は見込額、Ｒ７は予算額にＲ６繰越事業分（235,800千円）を含む。

⑷　歳出の内訳（一般会計）

令和７年度予算における性質別経費は、以下のようになります。
「義務的経費」が53.35%（前年度比＋2.27ポイント）、普通建設事業費等の「投資的経費」が6.33%（前年度比△2.06ポイント）、その他が40.32%（前年度比△0.21ポイント）となっています。



⑸　歳出の主な増減（一般会計）

①　人件費

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
6,105,735千円	5,641,069千円	464,666千円	8.24%

②　扶助費

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
10,760,781千円	9,517,933千円	1,242,848千円	13.06%

●自立支援介護給付費等事業費（3,067,236千円→3,537,166千円）＋469,930千円
●児童手当費（1,618,930千円→2,014,195千円）＋395,265千円
●子どものための保育給付事業費（1,390,138千円→1,556,360千円）＋166,222千円

③　公債費

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
2,024,865千円	2,081,176千円	△56,311千円	△2.71%

●地方債元金（1,956,536千円→ 1,887,552千円）＋△68,984千円
●地方債利子（124,640千円→ 137,313千円）＋12,673千円

④ 物件費

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
6,444,614千円	5,810,894千円	633,720千円	10.91%

●情報システム標準化事業費（54,486千円→194,042千円）＋139,556千円
●小中学校ＩＣＴ化推進事業費（47,269千円→120,271千円）＋73,002千円
●キャッシュレスポイント還元事業費（0千円→61,158千円）＋61,158千円
●予防接種事業費（284,221千円→340,220千円）＋55,999千円
●給食材料費／給食センター総務費（442,519千円→488,700千円）＋46,181千円
●基幹相談支援センター事業費（0千円→43,890千円）＋43,890千円

⑤ 補助費等

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
4,214,585千円	4,304,151千円	△89,293千円	△2.07%

●海部東部消防組合負担金（1,143,642千円→1,239,078千円）＋95,436千円
●企業再投資促進補助金（75,533千円→0千円）△75,533千円
●下水道事業会計支出金（794,619千円→739,343千円）△55,276千円
●事務管理費／予防費（54,757千円→2,827千円）△51,930千円

⑥ 繰出金

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
3,343,204千円	3,279,073千円	64,131千円	1.96%

●介護保険特別会計繰出金（1,064,742千円→1,114,903千円）＋50,161千円
●後期高齢者医療特別会計繰出金（1,314,755千円→1,355,458千円）＋40,703千円
●国民健康保険特別会計繰出金（884,179千円→847,095千円）△37,084千円
●市営住宅管理事業特別会計繰出金（15,397千円→25,748千円）10,351千円

⑦ 普通建設事業費

令和７年度	令和６年度	増減額	増減率
2,239,333千円	2,832,853千円	△593,520千円	△20.95%

●施設整備費／木田駅周辺整備事業費（614,345千円→309,000千円）△305,345千円
●新庁舎整備費（299,090千円→0千円）△299,090千円
●同報系防災行政無線整備費（192,600千円→449,400千円）＋256,800千円
●施設整備費（体育施設）（80,520千円→312,279千円）＋231,759千円
●施設整備費／産業会館費（131,068千円→0千円）△131,068千円
●企業誘致推進事業費（129,572千円→0千円）△129,572千円
●施設整備費／七宝焼アートヴィレッジ費（118,501千円→2,059千円）△116,442千円

2 財政指標

(1) 市債残高の推移（一般会計）

令和７年度末における市債残高の見込みは、272億1,189万円で、令和６年度末見込みより4億7,555万2千円の減額となります。

【主な減額要因】

借入見込金額より平成26年臨時財政対策債を始めとする償還終了金額が上回るため。

(2) 基金残高の推移（一般会計）

令和７年度末における基金残高の見込みは、41億9,055万1千円で、令和６年度末見込みより10億1,144万7千円の減額となります。

【主な減額要因】

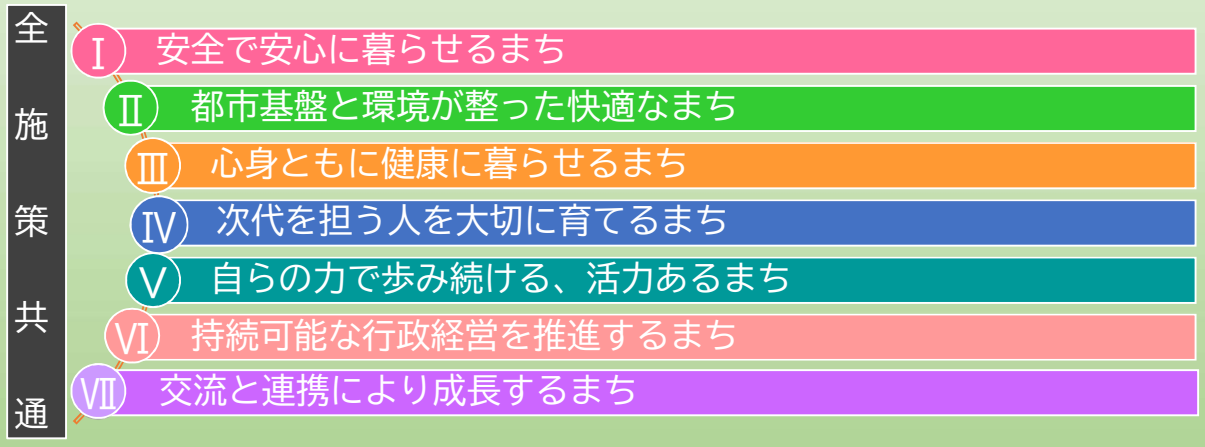
人件費及び物件費の増加への財源調整

※令和7年度末の財政調整基金の残高見込については、令和6年度決算見込に伴う余剰金の積立金を見込んでいます。

3 予算編成の考え方

⑴　令和７年度は、次世代を担う子どもたちが「ずっと大好きなまち」と思っていいただけるよう、社会経済情勢の変化をしっかりと見極めながら、あま市の未来を見据えた、持続可能なまちづくりを進めることを基本として、予算を編成しました。

⑵　依然として厳しい財政状況にあっても、「第２次あま市総合計画」で設定した７の基本目標を着実に推進していきます。



4 令和７年度の重点的な取組

全施策共通

施策別予算額	9百万円
対 前 年 度	＋9百万円

全施策共通

■ 総合計画策定費【新規】　8,621千円

令和7年度から令和8年度までの2年間で、第2次総合計画後期基本計画を策定
（次期まち・ひとしごと創生総合戦略を包含）
※【債務負担行為設定：（R8）7,300千円】

４ 令和７年度の重点的な取組

Ⅰ 安全で安心に暮らせるまち

施策別予算額	1,933百万円
対 前 年 度	＋341百万円

Ⅰ－１ 防災対策の充実により安全が確保されたまちをつくります

重点 1

■ 防災資機材等整備事業費【継続】 15,792千円

南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、令和6年度国の補正予算（第1号）を活用して緊急的に購入する屋内用間仕切りテント及び簡易ベッドに加えて、非常食等の防災資機材を計画的に購入

■ 同報系防災行政無線整備費【継続】 454,650千円

無線基地局、屋外拡声器を設置し、防災情報を速やかに一斉伝達できる環境を整備

重点 2

■ 住宅・建築物安全ストック形成事業費【継続】 18,385千円（増額分 6,799千円）

木造住宅等の既存建築物の耐震診断や耐震改修等に対する補助件数を拡大

Ⅱ 都市基盤と環境が整った快適なまち

施策別予算額	4,693百万円
対 前 年 度	△291百万円

Ⅱ－１ 都市基盤が整った快適なまちをつくります

重点 3

■ 木田駅周辺整備事業費【継続】 360,117千円

都市計画道路木田駅前線の整備とともに、幹線水路改修工事及び多目的トイレ整備工事を実施

■ 蟹江川改修橋梁改築事業負担金【継続】 37,000千円

愛知県が行う二級河川蟹江川護岸改修に伴い、篠田橋の架替えを実施するため、事業費の一部を負担

Ⅱ－２ 環境を守り、潤いある美しいまちをつくります

重点 4

■ 宅配ボックス設置費補助金【新規】 2,000千円 物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金活用事業

購入した宅配ボックスを自ら居住する市内の住宅（集合住宅を除く。）敷地内に設置した人に対し補助金を交付

重点 5

■ 公共施設ＬＥＤ照明賃貸借業務【新規】 407千円

市内28公共施設の照明機器を省エネルギー性能の高いＬＥＤ照明に更新

※【債務負担行為設定：（R8～R18）460,710千円】

Ⅲ　心身ともに健康に暮らせるまち

施策別予算額	25,920百万円
対 前 年 度	＋1,506百万円

Ⅲ－１　健康づくりを支えるまちをつくります

■ 健康づくり計画策定費【新規】　3,952千円

第3次あま市健康づくり計画・あま市歯と口腔保健計画・あま市食育促進計画を策定するための調査を実施

重点 6

■ 予防接種事業費【拡充】　352,970千円（拡充分 47,218千円）

65歳以上の高齢者を対象に、帯状疱疹ワクチンの定期予防接種を実施

重点 7

■ 医療機器更新事業【病院事業会計】【継続】　238,500千円

良質な医療サービスの提供を図るため、汎用超音波画像診断装置、包装用高圧蒸気滅菌器、血管造影室の各種医療機器等を更新

Ⅲ－２　市民力を活用した地域共生社会を実現するまちをつくります

■ 生活困窮者自立支援事業費【拡充】　35,703千円（拡充分 1,953千円）

生活困窮者の家計改善のため、家賃の低廉な住宅へ転居する必要があるときに給付金を支給

重点 8

■ 基幹相談支援センター事業費【新規】　43,890千円

地域で生活する障がいのある人への相談支援体制の中核機関として基幹相談支援センターを設置

■ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定費【新規】　4,818千円

本市在住65歳以上の一般高齢者、要介護認定高齢者及び介護支援専門員へ高齢者施策、介護サービス等に関するアンケート調査を実施

重点 9

■ 高齢者在宅福祉サービス事業費【拡充】　11,120千円（拡充分 49千円）

非課税世帯の認知症高齢者等が事故等で損害賠償責任を負った場合に備え、個人賠償責任保険に係る保険料を市が負担

■ 施設整備費／七宝高齢者生きがい活動センター費【新規】　2,838千円

七宝高齢者生きがい活動センター屋根防水等改修工事の設計業務を実施

Ⅲ－３　いきいきと学び続けられる環境が整ったまちをつくります

重点 10 ■ スポーツ振興費【継続】　325千円

本市出身の加納虹輝選手のパリ2024オリンピックでの活躍を称え、スポーツをより身近に感じてもらえるよう「スマートフェンシング」の体験会等を実施

重点 11 ■ 施設整備費（体育施設）【拡充】　326,050千円（拡充分 73,821千円）

物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金活用事業

美和及び甚目寺テニスコートナイター照明設備を省エネルギー性能の高いＬＥＤ照明に更新

Ⅳ 次代を担う人を大切に育てるまち

施策別予算額	6,947百万円
対 前 年 度	＋937百万円

Ⅳ－１　子育て環境の整ったまちをつくります

重点 12① ■ 運営費／児童クラブ費　0千円 ※R7年度は債務負担行為のみ

令和8年度からの全放課後児童クラブの民間事業者への運営委託に向けた準備

※【債務負担行為設定：放課後児童クラブ運営業務（R7～R10）916,417千円】

重点 12② ■ 施設整備費／児童クラブ費【新規】　24,286千円

美和北部第2児童クラブの移設及び甚目寺西第4児童クラブを増設

重点 13 ■ 子どものための保育給付事業費【拡充】157,025千円（拡充分 3,982千円）

保育料の無料化について、令和7年10月より現在の第三子以降から第二子以降の保育料に拡大

重点 14 ■ 保育事業費【拡充】　157,074千円（拡充分 33,956千円）

私立認定こども園等における病児保育事業や地域子育て相談事業の実施及び未就園児を対象とした新たな通園制度事業に必要な経費の一部を補助

■ 妊婦健診事業費【拡充】　79,076千円（拡充分 3,024千円）

産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後8週以内の出産後間もない時期の産婦に対して2回検診を実施

■ 妊婦支援給付金給付事業費【新規】　62,402千円

妊婦であることの認定後及び妊娠している子どもの人数の届出を受けた後に経済支援として、給付金を交付

Ⅳ－２　教育環境の整ったまちをつくります

重点15 ■ 施設整備費／小学校費・中学校費【継続】　59,969千円

老朽化が進む学校施設の改修工事を実施。また、令和6年度国の補正予算（第1号）を活用し、伊福小学校、秋竹小学校、美和小学校及び七宝北中学校の特別教室空調設置工事等を実施

重点16 ■ 小中学校ＩＣＴ化推進業務【拡充】137,050円（拡充分 66,837千円）

各小中学校でのICT利用教育をより効果的に実施するため、サポート業務を月1回→2回へ拡充

令和8年度からのタブレット端末更新に向けて初期設定や設置作業を実施

※【債務負担行為設定：小中学校情報機器更新業務（R7～R12）：287,675千円】

重点17 ■ 特別支援学校等給食費保護者負担軽減費【新規】　360千円　物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金活用事業

特別支援学校及び国・県立小中学校に通う小中学校の保護者負担軽減を図るために、市内小中学校で学校給食費の値上げ相当分を補助

重点 18 ■ 部活動地域連携推進費【新規】　5,874千円

部活動指導員やクラブチーム等との相談・連絡調整を行うための部活動地域連携推進員を配置し、休日部活動の地域移行に向けた地域連携の推進

重点 19 ■ 給食管理システム導入事業費【新規】　5,317千円

子育て支援アプリを活用し、献立表や給食レシピの情報発信を実施

重点 20 ■ 給食材料費／給食センター総務費【拡充】　488,700千円（拡充分 27,544千円）

市内小中学校の学校給食における給食材料費の物価高騰分を市が負担　物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金活用事業

Ⅴ　自らの力で歩み続ける、活力あるまち

施策別予算額	560百万円
対 前 年 度	△328百万円

Ⅴ－１　地域産業を活性し賑わいと活力あるまちをつくります

■ 土地改良施設維持管理適正化事業費【新規】　75,693千円
　萱津・甚目寺第3排水機場遊水地の土砂浚渫工事等を実施

重点21 ■ キャッシュレスポイント還元事業費【新規】　61,158千円　物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金活用事業
　市内対象店舗でＱＲコードサービスを利用した場合に支払金額の10%相当のポイント（上限5,000円）を付与

重点22 ■創業促進支援事業費【拡充】　4,084千円（拡充分　2,400千円）
　市内で起業する創業希望者に対し、創業開始当初に要する経費の一部を補助

■ 七宝焼街角ミュージアム事業費【新規】　1,429千円
　七宝焼アートヴィレッジ所蔵の尾張七宝花瓶を民間事業者へ貸出

重点23 ■ 企業誘致促進事業費【拡充】　22,190千円（拡充分　15,927千円）
　旧本庁舎跡地の利活用に向け、土地利用用途の絞り込みや地区計画策定に係る基本要件の整理を実施

Ⅴ－２　歴史・文化遺産を活用し、郷土に誇りが持てるまちをつくります

重点24 ■ 文化財保護費【継続】　7,300千円
　文化財の保護と活用に向けて、国重要文化財である「甚目寺南大門」等の保存修理に係る費用の一部を補助

■ 施設整備費／資料館費【新規】　15,400千円
　美和歴史民俗資料館の屋上防水工事を実施

Ⅵ　持続可能な行政経営を推進するまち

施策別予算額	958百万円
対 前 年 度	△9百万円

Ⅵ－１　持続的な行財政改革を推進するまちをつくります

■ 電算管理費【拡充】　445,891千円（拡充分　2,277千円）
市公式ＬＩＮＥから電子申請への引継ぎ機能やセグメント配信機能を追加

重点25

■ 情報技術による業務効率化事業費【拡充】　11,383千円（拡充分 2,475千円）
自治体独自の行政情報を登録できる生成ＡＩを導入

■ 戸籍氏名振り仮名対応事業費【新規】　16,167千円
戸籍の氏名へ記載する振り仮名の確認及び整理

■ 住民基本台帳ネットワークシステム更新事業費【新規】　10,171千円
住民基本台帳ネットワークシステムの安定的な運用を図るための更新

■ マイナンバーカード交付管理システム導入事業費【新規】　17,123千円
申請受付からカード交付までの一連の処理を効率化するためにシステムを導入

Ⅶ　交流と連携により成長するまち

施策別予算額	195百万円
対 前 年 度	△78百万円

Ⅶ－１　市民と育てる協働のまちをつくります

重点26

■ 市民協働推進費【拡充】　3,897千円（拡充分　2,421千円）
市民活動祭（あまのわ）の会場を美和文化会館から市役所敷地へ変更し、新たに地域に根ざした文化体験等の実施

Ⅶ－２　お互いの人権を認め合うまちをつくります

■ 人権尊重のまちづくり行動計画策定費【新規】　2,950千円
第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画の中間見直しに向けて、「あま市人権に関する市民意識調査」を実施

■ 男女共同参画プラン策定費【新規】　2,721千円
第2次あま市男女共同参画プランの中間見直しに向けて、「あま市男女共同参画に関する市民意識」を実施

資料２

令和７年度予算記者発表重点事業

目　次

1　安全安心なまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　持続可能な都市基盤整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3　安心して子どもを生み育てることができる環境づくり ・・・ 3
4　学校教育体制の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
5　健康づくり支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
6　地域共生社会の実現 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
7　商工・観光の振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
8　市の魅力発信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
9　脱炭素社会の実現 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
10　デジタル化の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

主要施策の概要	
P －	P 183

1　安全安心なまちづくり

AMA CITY

重点 1　防災資機材等整備費【継続】

国の補助金を活用して、防災資機材を緊急的に整備します

担当課：危機管理課　電話 052-444-0862

南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備えるため、非常食等の防災資機材の**備蓄の充実を図ります。**

主な購入資機材

備蓄用非常食(ファルファ米、保存水など)　ほか

※屋内用間仕切りテント・簡易ベッド

予算額　１，５７９万２千円

※Ｒ７.３月補正：２，８０９万１千円

※は国の令和６年度補正予算(第1号)にかかる総合経済対策に呼応するため、令和７年３月補正に前倒しています。

屋内用間仕切りテント

防災資機材の備蓄状況

重点 2　住宅・建築物安全ストック形成事業費【継続】

既存建築物の耐震診断・耐震改修等を推進します

担当課：都市計画課　電話 052-441-7112

木造住宅等の既存建築物の耐震診断や耐震改修等に対する補助件数を増やし、**安全で安心できる住まい・まちづくりを実現します**。

補助内容

①耐震診断	無料	
②耐震改修等	耐震改修工事	上限120万円／戸
	耐震シェルター	上限30万円／戸
	木造住宅除却	上限20万円／戸
	ブロック塀等撤去	上限10万円／件

予算額　１，８３８万５千円

主要施策の概要
P 190

2　持続可能な都市基盤整備

重点 3　施設整備費／木田駅周辺整備事業費【継続】

都市計画道路木田駅前線の整備を進めます

担当課：都市計画課　電話 052-441-7112

都市計画道路木田駅前線の整備とともに、幹線水路の改修を行い、**駅アクセス性の向上及び浸水被害の軽減を図ります。**

主な工事内容

・（都）木田駅前線の整備
・幹線水路改修工事
・トイレ整備工事

予算額　３億６，０１１万７千円

都市計画道路木田駅前線イメージパース

名鉄木田駅前広場（現在）

主要施策の概要	
P 152	P 154

3　安心して子どもを生み育てることができる環境づくり①

重点 13　①子どものための保育給付事業費【拡充】

重点 14　②保育事業費【拡充】

担当課：保育課　電話 052-485-5988

様々な保育ニーズに対応して子育て世帯の経済的負担を軽減します

①**保育料の無料化について、令和7年10月より現在の第三子以降から第二子以降に拡充**します。
②**私立認定こども園等が実施する病児保育事業**や、国の「こども未来戦略」に基づき、未就園児を対象に**令和8年度から実施予定の「こども誰でも通園制度」に要する費用を補助します。**

①　子どものための保育給付事業費

事業内容　**令和7年10月より**、従来からの第三子以上の児童に係る保育料無料化に加え、**2人以上の児童を養育、看護している世帯に対する第二子以降の児童に係る保育料を無料化又は軽減**

予算額　３９８万２千円【拡充分】

②　保育事業費

事業内容　私立認定こども園等が実施する、以下の事業に係る費用の一部を補助
⑴　保育中に体調不良となった児童に対応するための看護師等の配置に係る費用
⑵　未就園児対象の新たな通園制度事業を令和８年度から実施予定の施設への改修費用等

予算額　⑴　１，７９８万４千円【拡充分】
⑵　１，２９７万２千円【拡充分】

主要施策の概要	
P 146	P 148

3　安心して子どもを生み育てることができる環境づくり②

重点 12　①運営費／児童クラブ費【**拡充**】 ②施設整備費／児童クラブ費【**新規**】

安心して就労と子育てができる環境を整備します

担当課：子ども福祉課　電話 052-444-3173

①放課後児童クラブを利用ニーズの多い**夏季学校休業期間において増設**します。
②**令和８年度からの全放課後児童クラブの民間事業者への運営委託に向けた準備を進めます。**
③児童が安全に安心して生活できるよう、児童クラブ環境の整備充実を図ります。

①②　運営費／児童クラブ費

事業内容　⑴　夏休みの利用児童数の増加に伴い、**甚目寺西第４児童クラブを増設**します
⑵　**民間のノウハウを活用し、子育て支援の質的向上及び継続的・安定的な運営を図るため、令和８年度からの全放課後児童クラブの民間事業者への運営委託に向けた準備を進めます**

予算額　⑴　７７７万円【拡充分】
⑵　０千円（令和７年度は債務負担行為のみ）
（総事業費　９億１，６４１万７千円
※令和８年度から令和１０年度までの３年間の委託料として）

③　施設整備費／児童クラブ費

事業内容　受入定員を拡充するため児童クラブで利用する施設の改修を行います
対象施設　正則小学校（美和北部第２児童クラブ）・ 新居屋憩の家（甚目寺西第４児童クラブ）
予算額　２，４２８万６千円

主要施策の概要
P 235･236

4　学校教育体制の整備①

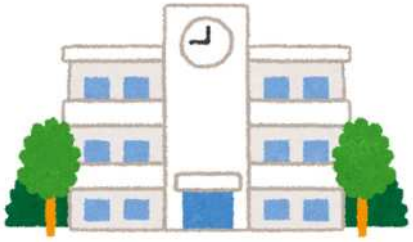
重点 15　①施設整備費／小学校費･中学校費【継続】②施設整備費（総合経済対策）／小学校費･中学校費【新規】

老朽化が進む小中学校を改修します

担当課：教育総務課　電話 052-485-6020

安全安心な学習環境を提供するため、緊急性が高く、
学校運営に影響を及ぼす**学校施設を改修**します。

※は国の令和６年度補正予算(第1号)にかかる総合経済対策に
呼応するため、令和７年３月補正に前倒しした工事となります。



美和東小学校プール

七宝北中学校駐輪場

【小学校】

整備内容

･篠田小学校高架水槽タラップ取替工事
･市内７小学校プールろ過装置改修工事　ほか
※伊福小学校消火管取替工事
※美和東小学校トイレ改修工事
※伊福、秋竹及び美和小学校特別教室空調設置工事

予算額　４，１１４万７千円
※Ｒ７.３月補正：２億３，６３１万３千円

【中学校】

整備内容

･七宝北中学校駐輪場改修工事
･七宝北中学校第一引込電柱取替工事　ほか
※七宝北中学校特別教室空調設置工事
※美和中学校本館東2階天井改修工事

予算額　１，８８２万２千円
※Ｒ７.３月補正：６，２８１万２千円

主要施策の概要
P 257

4　学校教育体制の整備②

重点 18　部活動地域連携推進事業費【新規】

中学校の休日部活動の地域連携による支援体制を構築します

担当課：学校教育課　電話 052-444-0902

休日部活動における地域との連携による支援体制を充実させて、生徒のスポーツ・文化芸術活動における環境充実に向けた地域の協働体制を構築します。

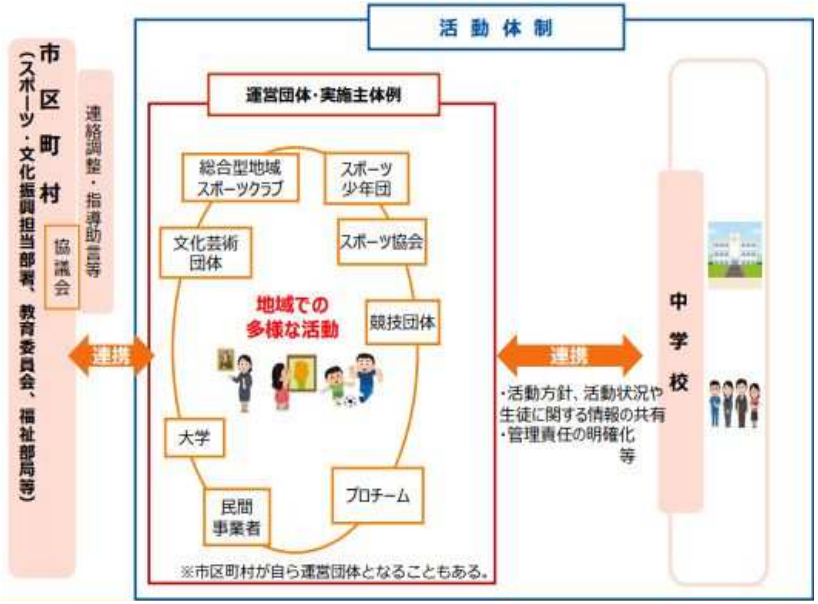
主なポイント

・部活動指導員との相談・連絡調整を行うための
部活動地域連携推進員の配置

・**モデル事業として、美和中学校及び甚目寺南中学校の柔道部の活動を指定し運営体制等を検証**

・あま市小中学校あり方課題別検討委員会にて学校や地域の意見聴取を実施

予算額　５８７万４千円



（参考）学校部活動の地域連携、地域クラブへの移行の全体像
（スポーツ庁HPより）

主要施策の概要
P 243・263

4　学校教育体制の整備③

重点 20　①給食材料費【拡充】
重点 17　②特別支援学校等給食費保護者負担軽減事業費【新規】

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金活用事業

学校給食費を支払う保護者の負担を軽減します

担当課：学校教育課　電話 052-444-0902
(学校給食センター　電話　052-441-7666)

①市内小中学校の学校給食における**給食材料費の物価高騰分（児童生徒1食あたり20円相当）を国の交付金を活用し**、児童生徒の保護者の負担を軽減します。
②特別支援学校及び国・県立小中学校に通う小中学生のうち、給食の提供を受けている児童生徒の保護者を対象に、**市内小中学校で行う学校給食の物価高騰相当分を支給します。**

学校給食の風景

①給食材料費

内容
給食材料費の物価高騰分について市が負担します
※１食当たりの給食費
小学生：290円→310円　中学生：320円→340円

予算額　２，７５４万４千円【拡充分】
※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当分

学校給食イメージ

②特別支援学校等給食費保護者負担軽減事業費

支給額　小学生：児童１人当たり　３，９６０円
中学生：生徒１人当たり　３，９６０円

予算額　３６万円

主要施策の概要	
P 167	P 292

5　健康づくり支援

重点 6　予防接種事業費【拡充】

帯状疱疹ワクチンの定期予防接種を実施します

担当課：健康推進課　電話 052-443-0005

新たに、**６５歳以上の高齢者を対象に帯状疱疹ワクチンの定期予防接種を実施**し、疾病の発生や重症化予防を行います。

対象者

・令和７年度経過措置対象者
　65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上
・60歳以上65歳未満でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害を有する身体障害者手帳１級程度の人

予算額　４，７２１万８千円【拡充分】

重点 7　医療機器更新事業（病院事業会計）【継続】

市民病院の医療機器を更新し、地域医療の充実を図ります

担当課：健康推進課　電話 052-443-0005

迅速な疾病の発見や検査時間の短縮による患者負担の軽減など**良質な医療サービスの提供を図るため、医療機器を更新**します。

更新する主な医療機器

・汎用超音波画像診断装置
・包装用高圧蒸気滅菌器
・血管造影室の各種医療機器※
※令和6.4.1から循環器内科を開設し、現在は常勤医師3人体制により診療の充実化を図っています

予算額　２億３，８５０万円

あま市民病院

主要施策の概要	
P121	P129

6　地域共生社会の実現

AMA CITY

重点 8　基幹相談支援センター事業費【新規】

地域で生活する障がいのある人への相談支援体制の充実を図ります

担当課：障がい福祉課　電話 052-485-5980

障がいのある人への相談支援体制の充実及び障がい福祉施設・医療機関等の支援機関との連携強化を図るための**中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置します。**

主な事業内容

・相談員の充実（相談支援専門員1名増）
・地域の相談支援体制強化の取組
・障がい者支援協議会の運営　など

予算額　４，３８９万円

※令和6年度は地域生活支援事業（相談支援）にて相談事業を実施【予算額：32,452千円】

センターを設置するすみれの里

重点 9　高齢者在宅福祉サービス事業費【拡充】

認知症の人が住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりを推進します

担当課：高齢福祉課　電話 052-444-3141

高齢者やその家族が安心した生活を送るため、認知症高齢者等が事故等で損害賠償責任を負った場合に備え、**個人賠償責任保険に係る保険料を負担**します。

補償する保険

日常生活賠償保険金額：上限１億円

保険契約者

あま市

予算額　４万９千円【拡充分】

主要施策の概要	
P 221	P 222

7　商工・観光の振興①

重点 21　キャッシュレスポイント還元事業費【新規】

キャッシュレス決済によるポイント還元を実施します

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金活用事業

担当課：商工観光課　電話 052-441-7118

市内対象店舗においてキャッシュレスポイント還元事業を実施し、**個人消費の喚起やキャッシュレス化による商業活動を推進します。**

還元率

最大１０％

※1回の決済あたり上限1,000円相当まで、かつ対象期間中の上限は5,000円相当まで

実施時期　令和7年7月頃（予定）

予算額　６，１１５万８千円

重点 22　創業促進支援事業費【拡充】

市内で起業する方へ創業開始当初に要する費用を補助します

担当課：商工観光課　電話 052-441-7118

AMA創業塾の卒塾生等に対し、創業促進支援補助金として創業開始当初に要する費用の一部を補助し、新規創業者の支援体制を強化して地域の活性化に繋げます。

補助対象経費

創業開始当初に要する費用（広告宣伝費、改装費、法人登記等に係る費用）

補助金額　補助対象経費の1/2（原則上限20万円）

予算額　２４０万円【拡充分】

AMA創業塾の風景

主要施策の概要	
P 227	P －

7　商工・観光の振興②

重点 23　企業誘致推進事業費【拡充】

旧本庁舎跡地の利活用に向けた検討を行います

担当課：企業誘致対策課　電話 052-444-1372
財政課　電話　052-444-1714

民間事業者による旧本庁舎跡地（市街化調整区域内）の利活用に向け、土地利用用途の絞り込みや地区計画策定に係る基本要件の整理等を行います。

予算額　１，５９２万７千円【拡充分】

旧本庁舎跡地（解体工事中）

重点 24　文化財保護費【継続】

地域での一体的な文化財の保存、活用を推進します

担当課：生涯学習課　電話 052-485-6070

国重要文化財「甚目寺南大門」等の保存修理に係る費用の一部を補助し、文化財の保存・活用を推進します。

対象となる改修工事

・甚目寺南大門保存修理
　【事業期間：令和６年度～令和８年度まで】
・絹本著色不動尊像修復
　【事業期間：令和７年度～令和10年度まで】

予算額　７３０万円

甚目寺南大門

主要施策の概要	
P 29	P –

8 市の魅力発信

重点 26　市民協働推進事業費【拡充】

パートナーシップによるまちづくりを目指します

担当課：企画政策課　電話 052-444-1712

市民、地域組織、市民活動団体及び事業者との交流を促進し、**パートナーシップによるまちづくりを推進するための企画として市民活動祭を開催**します。

市民活動祭の内容

・市民活動団体等による交流や活動内容の発表

・**新たに味噌、しょうゆなどを中心とした発酵文化の体験会等**を開催

開催場所　市役所敷地内

開催時期　令和7年１０月（予定）

予算額　２４２万１千円【拡充分】

市民活動祭の風景

重点 10　スポーツ振興費【継続】

スマートフェンシング体験会を開催します

担当課：スポーツ課　電話 052-485-6150

本市出身の加納虹輝選手のパリ2024オリンピック競技大会での活躍を称え、スポーツをより身近に感じてもらえる**イベントを開催**します。

イベント内容　スマートフェンシング体験会

開催場所　甚目寺総合体育館

予算額　３２万５千円

パリオリンピック応援風景
(市役所にて)

主要施策の概要	
P 279	P 89

9　脱炭素社会の実現

AMA CITY

重点 5　①施設管理費／保育園【継続】ほか

重点 11　②施設整備費（体育施設）【拡充】

公共施設の照明機器をＬＥＤ化します

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金活用事業

担当課：財政課　電話 052-444-1714
スポーツ課　電話　052-485-6150

消費電力やＣＯ$_2$の削減を図るため、**市内２８公共施設及び美和･甚目寺テニスコートの照明機器を省エネルギー性能の高いＬＥＤ照明に更新**します。

①予算額　４０万７千円（債務負担行為設定）

総事業費　４億６，０７１万円
※令和８年度から令和１８年度までの
１０年間の賃借料として

②予算額　７，３８２万１千円【拡充分】
※テニスコート照明設備改修工事費として

美和テニスコート

重点 4　宅配ボックス設置費補助金【新規】

宅配ボックス設置費を補助します

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金活用事業

担当課：環境衛生課　電話 052-444-3132

宅配ボックス設置費の一部を補助し、再配達に係る配達業者の負担軽減及び**脱炭素化の推進を図ります**。

補助対象
- 耐久性及び防水性があり、宅配物を安全に保管できるもの
- 盗難防止のため、容易に動かせないように対策したもの
- 未使用の新品であるもの
- 令和7年4月1日以降に購入・設置したもの

補助金額　購入・設置費の1/2、上限10,000円

補助台数　200台

予算額　２００万円

宅配ボックスイメージ（国交省HPより）

主要施策の概要		
P 59	P 233	P 261

10　デジタル化の推進

重点 25　情報技術による業務効率化事業費【拡充】

生成ＡＩを活用し、業務の効率化を図ります

担当課：情報推進課　電話 052-444-1373

自治体独自の行政情報を登録できる**生成ＡＩを導入**し、本市独自の事務や文書作成などに活用します。

予算額　２４７万５千円【拡充分】

重点 19　給食管理システム導入事業費【新規】

給食管理システムを導入し献立作成等の効率化を進めます

担当課：学校教育課(学校給食センター)
電話 052-441-7666

給食管理システムの導入し業務の効率化を図るとともに、**子育て支援アプリを活用して**献立表等の情報発信を行うことにより、子育て世代へきめ細やかなサービスを提供します。

予 算 額　５３１万７千円

重点16　小中学校ＩＣＴ化推進事業費【拡充】

ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図ります

担当課：教育総務課　電話 052-485-6020

各小中学校でのICT利用教育をより効果的に実施するためのサポート業務を拡充するとともに、**令和８年度からのタブレット端末更新に向けた準備を進める**ことにより、児童生徒に快適なICT環境を提供します。

ICT支援（サポート）業務

各小中学校でのサポート業務を月1回→2回へ拡充

予算額　９７１万５千円【拡充分】

タブレット端末更新費用

予算額　０千円（令和７年度は債務負担行為のみ）

総事業費　２億８，７６７万５千円
※令和８年度から令和１２年度までの
５年間のリース料として